

## ～グルメ選手権活用による県内商店街活性化事業～

県内の各商店街が、地元食材を活用した自慢のグルメを開発。これらが一同に会してグランプリを競う「商店街グルメ選手権」を開催。地元の威信をかけた熱きバトルへの挑戦が、街の活性化のエネルギーとなった。

所在地：鹿児島市宇宿3丁目1-1  
 電話：099-257-9690 FAX：099-284-1126  
 URL：<http://www.show-1.jp/>  
 会員数：14 所属員数：600名  
 商店街の類型：県内14商店街の連合体

## 商店街の概要と事業を実施した背景

県内の3商店街、5商店街連合会、2商工会の連携により、「食」を軸に組織化された連合会。県内近郊への大型量販店の相次ぐ出店や後継者不足によりシャッター商店街が増える中で、地域住民や地域団体を巻き込み、官民一体となって活性化に向けて取り組んでいる。その取り組みのひとつとして、過去4年間にわたって商店街グルメグランプリを開催してきた。年々来街者が増加し、その効果がみられることから、イベント後における県内商店街への誘客を強化する仕掛けづくりが望まれている。



## 実施した事業の概要

### 【グルメグランプリ地方大会、本大会の開催】

今年で5回目の開催となった同イベントは、県内の商店街が黒豚・黒牛・鰹など地域の自慢の食材を活用したご当地の郷土食「商店街グルメ」を出品し、来場客の投票でグランプリを決定した。地方大会は平成26年10月～平成27年1月の期間、枕崎市、出水市など県内7つの会場で開催（計7回）。本大会は27年2月7日（土）・8日（日）、霧島市国分シビックセンターお祭り広場駐車場（屋外）にて、11の商店街グルメが集結してグランプリを競った。地方大会・本大会とも、開催当日に来場者が会場入口で投票券付チケット1セット1,200円（100円×12枚綴り）を購入し、1杯300円～400円で好みの商店街グルメを食し、美味しかったグルメやお気に入りのグルメに投票。大会でいちばん投票の多かった枕崎市通り会連合会が昨年度に続きグランプリに輝き、同センター多目的ホール（屋内）で行われた表彰式で、霧島市長からトロフィーと表彰状が授与された。

今回は新しい試みとして、地方大会5箇所（枕崎・鹿屋・出水・志布志・霧島）の商店街がマルシェを開催した。マルシェでは、地元野菜、果物、特産品を販売するなど、各商店街のPR活動の場を設け認知度向上に努めた。また、各商店街で使用できるクーポン券を配布し、個店への集客を促した。



## 成果と成功の要因



商店街グルメグランプリは、本大会・地方大会で延べ約135,000名の来場者があるビッグイベントとなった。マスコミ各社に取り上げられ、参加する県内商店街をPRする絶好の機会となった。さらに、参加商店街への反響も大きく、商店街グルメメニューを出した飲食店では午後8時頃まで行列ができた。参加した各商店街が関与するイベントの増員や個店の売上増加につながった効果もあり、グランプリ獲得に向けて商店街の士気は高まった。

成功の要因の一つには、地方大会で今回はじめて開催したマルシェやクーポン券を配布したこと。二つには、本大会の会場隣接地に合計1,000台の駐車場を確保できたことである。遠方から車で来場しやすくなり、集客数の増加につながった。多くの県民や観光客が本県の食材の魅力を再発見していただいたとともに、空洞化が進む商店街の活性化や各地域の商店街の交流も促進した。

## 今後の取り組み

今回の事業の成功を踏まえ、来年度以降も規模を拡大しながら継続して開催し、県内商店街の交流人口の増加を図っていく。運営に当たっては、行政や支援機関との連携を強化し、効率的な運営を目指す。

今後の資金については、地方自治体等の支援を受けて実施するほか、商店街からの参加費拠出と商店街マルシェ事業の売上で事業費捻出の計画を立てており、不足分についてはスポンサー収入等を想定している。